



## 雨の日の園内遠足

歓迎遠足を予定していた 10 日 (火) に続き、予備日の 11 日 (水) も雨が降り、子どもたちが楽しみにしていた遠足を、やむなく中止にしました。幼稚園では、こんなに続けて雨が降り、行事を中止するのも久しぶりということでした。私が、幼稚園に赴任した後も、ソーメン流しやお泊り保育の日に雨は降りましたが、延期するほどでもなく予定通り実施してきました。それ以外は、殆どの行事が好天に恵まれていたので、自分は晴れ男であると自負していたのです。しかし、今年度は、スタートの入園式から雨でしたから、遠足の日の天気がとても心配でした。心配は残念ながら的中しました。初めて遠足を経験する新入園児、年中さんの手を引くことで最上級を意識する年長さんにとっても、楽しみな歓迎遠足でしたから、ぜひとも晴れてほしかったですね。「今年は、雨でしたね」「残念でしたね」と言われると、私が園長として何か悪い事でもしたからかなと、ちょっぴり責任を感じる次第です。

歓迎遠足のために、昨年度までの舞鶴公園の集合場所が修理工事中だということから、職員が実施踏査し、変更する集合場所の安全性を確認したり、10 日には、教頭が、再度、集合場所に出かけ、地面の濡れ具合を確かめたりした努力が報われず残念でした。

職員会議で、後日に遠足を延期できないか検討しましたが、今後の行事を考えると、全園児揃っての遠足実施は難しいということで、11 日に、各学年に応じた園内遠足を実施しました。クラス内で室内ゲームに興じたり、歌を歌ったりして楽しいひと時を過ごしたようです。子どもたちには、園内遠足も結構、好評のようでした。多くの子どもたちが、室内で遊ぶことができ、とても楽しかったと言っていました。

年長さんは、31 日 (火) の油山登山の事前練習を兼ねて、23 日 (月) に舞鶴公園までの遠足を予定しています。他の学年も、保護者同士の顔合わせを兼ねて何らかの計画があるようです。詳細は、各学年だよりで



お確かめください。

## お釈迦様、お誕生日おめでとう

筑紫女学園大学の宇野先生を導師にお迎えして、お釈迦様のお誕生をお祝いする花まつりを、学園の創立記念日にあたる 5 月 13 日 (金) に実施しました。花まつりには、子どもたちが一輪ずつ持ち寄ったガーベラやジャクヤク、カーネーションなどの美しい花で、花御堂を飾り、みんなで甘茶を注いでお祝いしました。

花御堂や甘茶については、次のような言い伝えがあります。お釈迦様がお生まれになった折に、7 歩あゆまれて天と地を指して「わたしは、全ての人々の幸せのために、尊い命を持って生まれてきた」とおっしゃられたそうです。その時、空から花びらと甘い雨が降り注いだといわれています。このことから花御堂と甘茶を準備するようになったようです。

本来、花まつりは、2500 年前の 4 月 8 日にお釈迦様がお生まれになったことをお祝いする行事です。ただ、幼稚園の場合、始園式前後に当たり、新入園児もいないことから、例年、全園児が揃う 1 か月遅れの 5 月に実施しています。今年度は、学園創立 109 年のお祝いも兼ねて、あえて、学園休業日である創立記念日に実施しました。人と学園ということですが、同じ誕生をお祝いする行事として、子どもたちにも意味を伝えやすく、意義があったと考えています。



善光寺がある長野市では、5 月の連休に市をあげて「はなまつり」を開催しています。歩道の街灯には、ペチュニアやパンジー、ベゴニアなど色とりどりの花をハンギングし、一般車両を通行止めした歩行者天国では、有名フラワーデザイナーの手によるフラワーアートで見物人の目を楽しませているということです。花まつりにもいろいろな形があるようです。

善光寺がある長野市では、5 月の連休に市をあげて「はなまつり」を開催しています。歩道の街灯には、ペチュニアやパンジー、ベゴニアなど色とりどりの花をハンギングし、一般車両を通行止めした歩行者天国では、有名フラワーデザイナーの手によるフラワーアートで見物人の目を楽しませているということです。花まつりにもいろいろな形があるようです。

## たけのこ担当のピンチヒッター

延長保育の「たけのこ」を担当する先生がいなくて困っていましたが、今春退職された片岸先生に無理矢理お願いし、1 学期間だけ助けていただくようになりました。早速、16 日からの保育ですが、子どもたちにとっては、顔見知りの先生だけに大喜びでした。